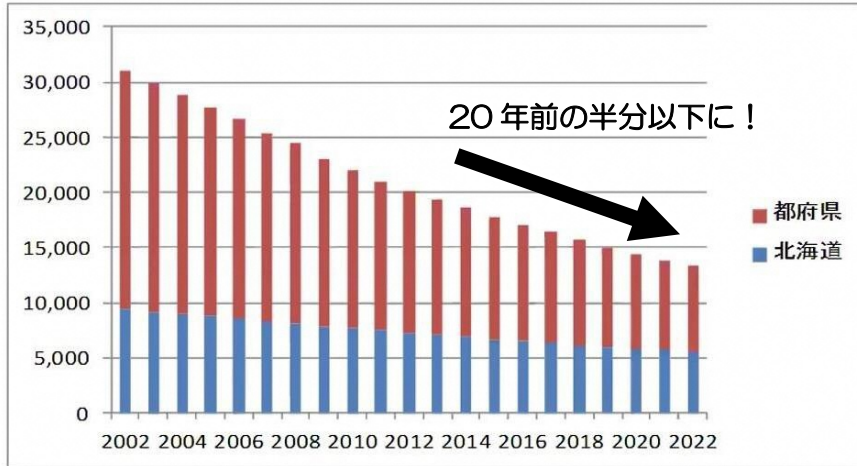




今、酪農が史上最大の危機に?!

このままでは国内産の牛乳が飲めなくなる?

全国の酪農家戸数の推移 出典：千葉北部酪農農業協同組合資料



酪農生産者が急激に減っている



どうしてこんなことになったの?

コスト高騰

- ・ 飼料は海外から輸入
- ・ 電気代・ガソリン代が上がっている
- ・ 餌になるトウモロコシがバイオエタノールの原料に使われている
- ・ 円安、戦争、異常気象

子牛価格の暴落

肥育農家の経営が厳しい



この状態は・・・

【酪農家の7重苦】

東京大学大学院教授 鈴木宣弘

(出典：2022.10.27 農業協同組合新聞)

- ①生産資材暴騰
- ②農産物の販売価格が低迷
- ③副産物収入の激減
- ④強制的な減産要請
- ⑤乳製品在庫処理の多額の農家負担金
- ⑥輸入義務でないのに続ける大量の乳製品輸入
- ⑦他国で当たり前の政策が発動されない



酪農家の窮状を知ってほしい

千葉北部酪農農業協同組合生産者に聞きました (2023.4.22)

牛乳を適正価格に！

千葉北部酪農農業協同組合 有限会社 高秀牧場
代表取締役 高橋恵二さん



牛乳は生鮮品で生活必需品のため購入頻度が高く、そのため特売の目玉になってしまうのが実情。この状態が続けば酪農経営の継続は難しいし生産者は倒産してしまう。これから国産の安全・安心な牛乳乳製品を安定的にするために、適正な価格にしてほしい。

経営困難で廃業

八千代牛乳の元農場経営者千葉北酪組合員
鈴木耕太郎さん



就農した 2019 年に台風 15 号により被災、その後、国際情勢の影響による飼料やエネルギー価格の高騰で経営困難になり 2022 年 11 月に離農を決断した。今この瞬間にも先の見えない状況で戦っている生産者がいる。この状況を知ってほしい、皆さんに応援してほしい。

もっと牛肉を食べて！

千葉北部酪農農業協同組合 八千代黒牛生産者
埴(はなわ)健吾さん



生産コストの上昇を販売価格で補えない状況が続いている。輸入飼料の高騰と天候不順、世界情勢に大きく影響を受け、大変厳しい状況。畜産経営は食べてくれる人がいなければ成り立たない。

日本の酪農を救うために、今私たちができることは？

- ・牛乳を朝と晩に必ず飲む
 - ・生産者に感謝を伝える
 - ・学習会や講演会に参加し現状を知る
 - ・周りにも知らせる
 - ・支援募金に協力する
 - ・商品価格の値上げを受け入れる
 - ・農業政策に取り組む政治家に投票する
- など、「ひとりひとりができること」を、始めてみませんか？

